

第33回兵庫県家庭婦人バスケットボール優勝大会結果一覧表

会場：いなみ野体育センター

第1日目：平成24年4月22日(日)

Aコート					戦評
コート 順序	ゲーム	チーム名	得点	チーム名	
A-①	1回戦	C Z倶楽部	42 $\left[\begin{array}{l} 12 - 10 \\ 1 - 5 \\ 15 - 4 \\ 14 - 10 \end{array} \right]$	29 ビッグママ	C Z倶楽部が3Pシュートを決め先行。最初攻めあぐねていたビッグママも高さを生かし、センターが得点を重ねる。第2ピリオド、両チームともディフェンスのあたりが強くなり、なかなかシュートが決まらない。13-15で前半を折り返す。第3ピリオドC Z倶楽部は外角シュート、ポストへの徹底したディフェンスでリズムをつかむ。ビッグママはファウルが重み、フリースローで徐々に点差が開く。第4ピリオド残り5分C Z倶楽部の3Pシュートが連続で決まり突き放す。ビッグママ、リバウンドシュートで反撃するがC Z倶楽部が42-29で押し切った。
A-②	1回戦	ラウンド	35 $\left[\begin{array}{l} 5 - 5 \\ 16 - 9 \\ 8 - 12 \\ 6 - 8 \end{array} \right]$	34 WINK	ラウンドはコートを広く使った相手を揺さぶるオフェンス、#21の3Pシュートなどで得点を重ねていく。WINKは#9のドリブルイン、カットインミートなどで得点差をつめ、7点差で前半を終える。第4ピリオド、ラウンドは積極的にシュートを打つが決まらず単調な攻めとなる。残り2分ラウンド#20のゴール下シュートが決まり31-31同点。残り50秒WINK#4の3Pシュートが決まりWINK1点リード。残り15秒ラウンド#21のドリブルシュートが決まり、ラウンドの勝利
A-④	1回戦	西神ママドル	25 $\left[\begin{array}{l} 4 - 21 \\ 8 - 8 \\ 6 - 15 \\ 7 - 10 \end{array} \right]$	54 Hime G!	Hime G!の3Pシュートで始まる。終始Hime G!のペースで試合が進む。第2ピリオドHime G!の攻めが単調になり、逆に西神ママドルは外角のシュートが決まりペースを掴む。後半出だしはミスと単調な攻めで両チームなかなか得点に結びつかず。残り2分をすぎてHime G!#6のジャンプシュートと3PでHime G!がペースを取り戻す。両チームミスが目立ったが、最後は個人の得点力のまさったHime G!が攻め切り勝利を手にした。
A-⑥	2回戦	B-①の勝者 リトルパンダ	37 $\left[\begin{array}{l} 8 - 17 \\ 10 - 12 \\ 7 - 11 \\ 12 - 9 \end{array} \right]$	A-②の勝者 ラウンド	試合開始とともにラウンドの闘志溢れるディフェンスでリトルパンダは攻めあぐねミスが続く。ラウンドは#18、#21が確実にシュートを決め引き離す。第2ピリオドリトルパンダもディフェンスからリズムを掴み#5を中心に多彩な攻撃をみせ互角の戦いとなった。後半リトルパンダ#23のシュートが連続で決まったがその後はラウンドの手強いディフェンスを攻めきれず得点が止まる。ラウンドは#4、#18の3Pシュートが決まり得点差を広げる。終始ミスが少なく、着実にシュートを決めたラウンドがリトルパンダを振り切った。
A-⑦	2回戦	A-④の勝者 Hime G!	49 $\left[\begin{array}{l} 9 - 8 \\ 14 - 8 \\ 15 - 12 \\ 11 - 12 \end{array} \right]$	40 アゲインズ	両チーム共固い守りで得点に結び付かなかったが、残り6分Hime G!#16が先制点を挙げると一進一退の展開で終了。第2ピリオドアゲインズの連続得点でやや押し気味かと思われたがHime G!#15の連続3Pシュートで逆転。Hime G!のペースとなりリードを広げる。第4ピリオドアゲインズが3Pシュートで波を引き寄せ一気に3点差まで迫るがHime G!の最後まで固い守りを崩しきることができずHime G!の勝利となった。
Bコート					戦評
コート 順序	ゲーム	チーム名	得点	チーム名	
B-①	1回戦	TMC	39 $\left[\begin{array}{l} 11 - 8 \\ 10 - 9 \\ 13 - 18 \\ 5 - 13 \end{array} \right]$	48 リトルパンダ	リトルパンダ#20の先制から試合がスタートし一進一退の接戦になる。TMC#18の3Pシュートなど連続得点でリードを広げるかと思われたがリトルパンダも#7の3Pシュートなどで応戦し差を広げられず小差のまま前半終了。両チーム激しいディフェンスで一進一退の攻防となるも、残り1分41秒リトルパンダの3Pシュートが決まり38-45とリードを広げる。TMCも必死の追い上げを見せるが残り18秒リトルパンダ#5の3Pシュートが決まり勝利を決定づける。終始ディフェンスで足が止まらなかったリトルパンダが処理を手にした。
B-②	1回戦	Funnyゴールド	33 $\left[\begin{array}{l} 4 - 12 \\ 13 - 17 \\ 4 - 9 \\ 12 - 3 \end{array} \right]$	41 芦屋シーサイド	両チーム共よく走り良いスタートを切る。芦屋シーサイドが中、外に動き先手をとり点数をあげる。第2ピリオド、Funnyゴールドが自分達のペースを掴み連続してシュートを決める。後半に入りFunnyゴールド攻撃も上手いかず終始芦屋シーサイドのペースでゲームが進んでいく。第4ピリオドはお互い1歩も引かず一進一退の展開となるが、手堅く粘り強くゲームをする芦屋シーサイドが勝利する。
B-④	2回戦	エンドレス	74 $\left[\begin{array}{l} 22 - 3 \\ 14 - 0 \\ 17 - 3 \\ 21 - 10 \end{array} \right]$	A-①の勝者 C Z倶楽部	エンドレス先制で始まり、前年度王者の貫録をみせ着実に得点を重ねる。C Z倶楽部はシュートをはなつもの決まらず大量リードを許してしまう。後半に入ってもエンドレスは攻撃の手を緩めることなく得点をあげる。最終ピリオドC Z倶楽部#8の3Pシュートが決まり、#22、#6と続けてシュートを決めるも、エンドレスの勢いを止めることができずに終了した。
B-⑥	2回戦	桜香クラブ	63 $\left[\begin{array}{l} 9 - 9 \\ 18 - 7 \\ 16 - 2 \\ 20 - 6 \end{array} \right]$	B-②の勝者 芦屋シーサイド	桜香クラブが早いバス回しで得点を重ねる一方で芦屋シーサイドは3Pシュートを連続で決めて対抗する。第2ピリオド桜香クラブのスピードと勢いが勝り、一気に突き放す。第3ピリオド、桜香クラブのスピードは全く衰えることなく着実に得点を重ねる。対する芦屋シーサイドもスクリーンなどを使って応戦するがファウルやミスが目立ちに波にこのことができない。終始リードを保っていた桜香クラブはリバウンドでも競り勝ち、早い攻撃で芦屋シーサイドを翻弄、63-24で勝利。

第2日目:平成23年5月4日(水)

Aコート					戦評
コート 順序	ゲーム	チーム名	得点	チーム名	
A-①	5~8位 決定戦	C Z倶楽部	31 $\left[\begin{array}{r} 8 - 10 \\ 11 - 13 \\ 9 - 10 \\ 3 - 13 \end{array} \right]$	46 リトルパンダ	両チームともマンツーマンディフェンスでスタート。互いに動きが重くなかなかシュートが決まらず波に乗り切れない。リトルパンダはガード陣を軸にドライブからファウルを誘い得点を重ねる。C Z倶楽部は#6を中心に外角からのシュートで攻めるもイージーシュートを決められず、リトルパンダリードで前半を終える。後半両チームとも内、外と攻め得点を重ねるが膠着状態が続く。第4ピリオドC Z倶楽部3Pシュートで2点差まで詰め寄るもリトルパンダは確実にシュートを重ね、逃げ切った。
A-③	準決勝	エンドレス	59 $\left[\begin{array}{r} 10 - 3 \\ 24 - 6 \\ 12 - 2 \\ 13 - 7 \end{array} \right]$	18 ラウンド	両チーム激しいディフェンスを繰り広げるもラウンドは攻め手をかきシュートまで持ち込めない。一方エンドレスはリバウンドを支配、#11、#21の3Pシュートが決まり突き放す。後半ラウンドはゾーンディフェンスに変えて応戦するもエンドレスのオフェンスを止められない。さらにリードを広げるエンドレスに対し、ディフェンスを変え果敢に戦うも勢いをとめることができず地力に勝るエンドレスが59-18のスコアで大勝し、決勝進出を決めた。
A-⑤	5、6位 決定戦	リトルパンダ	23 $\left[\begin{array}{r} 0 - 15 \\ 8 - 10 \\ 13 - 16 \\ 2 - 13 \end{array} \right]$	54 アゲインズ	互いにマンツーマンディフェンスで始まる。アゲインズの堅い守りと速攻、ポストプレイなどで一方的な試合運びとなる。後半リトルパンダは攻撃のリズムを掴みだし、得点を重ねるも、アゲインズの確実なシュートで点差を縮めることができない。第4ピリオドリトルパンダの守りの足が止まり、アゲインズの速攻も確実に決まりだし更に得点差をひろげて、終了となった。
A-⑦	決勝	エンドレス	50 $\left[\begin{array}{r} 10 - 5 \\ 22 - 7 \\ 11 - 8 \\ 7 - 9 \end{array} \right]$	29 桜香クラブ	両チーム激しいディフェンスを繰り広げ、第1ピリオドから白熱した戦いとなる。エンドレスは3Pシュート、速攻からのシュート、セットプレーと多彩な攻撃をみせる。桜香クラブも3Pシュート、合わせのシュートなど粘り強くオフェンスを頑張るもエンドレスが20点の差をつけ前半を終える。後半巻き返しを狙う桜香クラブはディフェンスを頑張る互角の戦いとなるが前半の大差をつめることができず苦しい展開。第4ピリオド桜香クラブは果敢にゴールを攻め相手ファウルを誘いフリースローで得点していくも点差をつめられない。両チーム最後まで足が止まらず気迫溢れるプレーを続けるも前半のリードで主導権を握ったエンドレスが危なげない戦いで勝利を手にした。
Bコート					戦評
コート 順序	ゲーム	チーム名	得点	チーム名	
B-①	5~8位 決定戦	芦屋シーサイド	18 $\left[\begin{array}{r} 10 - 19 \\ 1 - 11 \\ 2 - 17 \\ 5 - 14 \end{array} \right]$	61 アゲインズ	お互いに固い出だし。アゲインズ#7の1ON1からのシュートが決まり点が動く。芦屋シーサイドも#18、#9の1ON1から得点を決めるもアゲインズの堅実なディフェンスからの速攻がでてアゲインズのペースで前半を終える。後半芦屋シーサイドはアゲインズの固い守りが崩せず思うようにシュートを打たせてもらえない。第4ピリオド芦屋シーサイド#7のカットインやポストプレイなどで流れを引き寄せようとするがアゲインズの堅守を崩せず、終始アゲインズペースで試合終了となった。
B-③	準決勝	桜香クラブ	46 $\left[\begin{array}{r} 8 - 13 \\ 8 - 7 \\ 11 - 8 \\ 19 - 10 \end{array} \right]$	38 Hime G!	オフェンスリバウンドの強いHime G!が外からのカットインと中からのセンタープレイをうまく使い得点を重ねていく。メンバー交代とともに桜香クラブのリバウンドが取れ始め、攻撃にも幅がでて着実に点数を入れる。後半Hime G!の攻撃が単調となり、桜香クラブが逆転。#7などの3Pシュートで勢いがつき、桜香クラブが波ののり、粘るHime G!を突き放し、46-38で勝利。
B-⑤	7、8位 決定戦	C Z倶楽部	41 $\left[\begin{array}{r} 9 - 16 \\ 9 - 7 \\ 13 - 6 \\ 10 - 12 \end{array} \right]$	41 芦屋シーサイド	第1ピリオド膠着状態が続くが残り5分芦屋シーサイド#9の3Pシュートで流れが変わる。C Z倶楽部粘りをみせるも芦屋シーサイドが正確にシュートを決め18-23で前半終了。後半芦屋シーサイドのミスが続きC Z倶楽部が着々と得点を重ね、逆転。一進一退の攻防が繰り広げられ第4ピリオド残り30秒で41-41の同点。両者とも粘りをみせ最後の最後まで接戦で両者譲らず同点のまま試合は終了した。
B-⑦	3位 決定戦	ラウンド	34 $\left[\begin{array}{r} 7 - 14 \\ 8 - 11 \\ 10 - 12 \\ 9 - 14 \end{array} \right]$	51 Hime G!	互いにシュートが決まらず、パスミスを連発。残り4分Hime G!のシュートが決まりだし試合が動き出す。3Pシュートをどちらかが決めれば入れかえし混戦状態。後半に入って両チームともディフェンスを踏ん張り一進一退の展開に。第4ピリオドHime G!の速攻が決まりだしリズムをつかんだHime G!が34-51で勝利を手にした。

順位	チーム名	順位	チーム名
優勝	エンドレス	5位	アゲインズ
2位	桜香クラブ	6位	リトルパンダ
3位	Hime G!	7位	C Z倶楽部
4位	ラウンド	7位	芦屋シーサイド